

令和6年度第25回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時 及び場所		令和6年11月29日（金）13:30～14:35 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 公益財団法人日本陸上競技連盟内 A会議室/オンライン	
出席委員		世界陸上財団 事務次長（委員長） 遠松 秀将 弁護士 原澤 敦美 公認会計士 黒石 匡昭 世界陸上財団 総務部長 田近 隆 世界陸上財団 企画部長 白石 正樹 世界陸上財団 財務部長 前山 琢也 世界陸上財団 業務開発部長 小林あかね (敬称略・7名)	
審査案件	案件 1	東京2025世界陸上競技選手権大会における競歩競技運営業務委託	
	契約方法	一般競争入札（総合評価方式）	
	概要	○世界陸上大会における競歩競技の運営に必要な以下の業務を委託	
		統括管理業務	大会の競歩運営を全体的に管理するとともに、業務の円滑な実施に必要な進行管理表等を作成
		設営関連業務	競歩運営に必要な鉄柵、備品、給水所、仮設トイレ等の設営・撤去
競技運営業務		ディレクターを配置し、競歩運営を進捗管理するとともに、競技運営マニュアルを作成	
交通規制広報業務		交通規制内容を記載したチラシや看板を制作し、周辺住民に周知	
	物流・輸送業務	競歩運営に必要な車両・ドライバーの手配・管理	
		○ 入札価格に加えて、本業務の履行能力等を総合的に判断して落札者を決定するため、契約方法は総合評価方式の一般競争入札を採用	
		○ 契約期間：契約確定の日の翌日から2025年10月31日まで	

審査案件	案件 2	東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場外構部ステージ等整備業務	
	契約方法	プロポーザル方式契約	
	概要	○ 大会が観客や選手にとって記憶に残るものとなるよう、メダリストを祝福する表彰式や東京の魅力発信等の実施場所として国立競技場の外構部にステージ等を整備（設計・施工一括方式）する。	
		○ 主な委託内容は以下のとおり	
		実施設計	ステージのデザインを検討するとともに、要求水準書の各要件を満たした設計図書を作成
		工事施工	ステージ設置工事、カメラプラットフォーム設置工事、電気設備工事など
		○ 契約期間：契約確定の日の翌日から2025年12月26日まで	
	案件 3	東京2025世界陸上競技選手権大会における会場運営等に係る実施計画策定及び運営業務委託	
	契約方法	一般競争入札（総合評価方式）	
	概要	○ 世界陸上大会で使用する各会場の諸室配置や各ステークホルダーの動線、什器の設置、観客対応等の大会運営に関する実施計画を作成するとともに、それに基づく会場運営等を実施	
		○ 主な業務内容は以下のとおり	
		実施計画の作成	基本計画を基に、大会時の運営マニュアルとして使用できる、より詳細な実施計画の作成
		会場運営等の実施	実施計画に基づき、会場運営や観客サービス、メディア対応、競技運営補助等の業務を実施
		○ 入札価格に加えて、本業務の履行能力等を総合的に判断して落札者を決定するため、契約方法は、総合評価方式の一般競争入札を採用	
		○ 契約期間：契約確定の日の翌日から2025年12月26日まで	

審査結果	➤ 案件１～２について、契約手続前（仕様の内容、予定価格、契約方法等）の審査を実施し、了承された。 ➤ 案件３について、契約締結前（入札経過、契約候補者、契約金額等）の審査を実施し、了承された。
委員の 主な意見 (要旨)	(案件1について) ○黒石委員 本契約の入札には、先行契約（実施計画等の策定業務）の受託者も参加できるとのことだが、他の事業者にも広く門戸を開いて競争してもらうということか。 ⇒ 事務局 本契約の入札にあたっては、先行契約の受託者以外の事業者に幅広く参加してもらうために、入札希望者に対して、先行契約の成果物等を公平に情報提供するとともに、ＪＶでの参加を認めるなど、競争性を確保する取組を行っている。 ○黒石委員 技術点の評価項目においては、運営体制の確立が重要であるため、当該項目の配点を高くしているとのことだが、ボランティアの活用を前提としているのか。それとも、ボランティアの活用は事業者から提案してもらうことになっているのか。 ⇒ 所管部 本契約では、給水所にボランティアを配置することを予定しているため、事業者には、給水業務に関わるボランティアの管理や研修を行ってもらうことを考えている。 ○原澤委員 下見積を提出した事業者のうち、先行契約の受託者が一番低い下見積額を提示している。先行契約が有利に働いたことによるものなのかは不明であるが、本入札においては、先行契約の受託者が不当に有利になることがないよう留意されたい。 ⇒ 事務局 本契約の入札では、先行契約の受託者以外の事業者の入札参加を促すための取組を行っている。具体的には、全ての入札希望者に対して、先行契約の成果物等を公平に情報提供するとともに、入札参加資格で経験や実績を求めず、ＪＶでの参加も認めている。加えて、技術提案書の作成期間を通常よりも１週間長く設定するなどの取組により、経験豊富な事業者以外でも入札参加しやすい環境を整え、先行契約の受託者が過度に有利にならないように留意している。

委員の
主な意見
(要旨)

○原澤委員

総合評価の配点について、価格点100点、技術点200点の300点満点としながら、価格点については上限を40点に設定しており、それより高い価格点はつき得ない。入札時には、その点をしっかり説明し、入札参加事業者に誤解が生じないようにされたい。

⇒ 事務局

案件公表時に事業者に誤解を生じさせないように、価格点の上限設定の仕組みをわかりやすく周知したい。

(案件2について)

○原澤委員

幅広く海外事業者の参加を促すために、英語による募集サマリーを作成・公表するとのことだが、企画提案の参加要件に建設業法の許可取得等を求めていることから、現実問題として海外事業者が企画提案に参加することは難しいと思われる。本契約において、海外事業者の参加を促す理由はどこになるのか。

⇒ 所管部

国内の事業者で海外の法人と連携している事業者なども想定されるため、英語による募集を行うことに意義はあると考えている。本契約ではJVでの参加も認めており、JVで参加する場合には、建設業の許可は、代表者のみが取得していればよいこととなっている。

(案件3について)

○黒石委員

技術審査委員会の各委員が採点した技術点（平均点）の一覧表を見ると落札候補者となった（株）SPORTS Edgeの点数が最も高い。当該事業者は、品質の面で他事業者を圧倒していたのか。

⇒ 所管部

総合的に見て、（株）SPORTS Edgeが最も優れていると評価された。

具体的には、精緻な作業プロセスによる実施計画の作成や、知見・ノウハウを有するスタッフの配置などにより、効果的な運営が期待できる点などが評価された。

⇒ 黒石委員

本契約に必要な業務は担い手によって品質が変わるものなので、事業者の会社としての業務実績より、実際に業務に従事する担当者を評価するという評価ポリシーを採用している点は非常に良いと考える。

委員の
主な意見
(要旨)

○原澤委員
本契約は大会の運営全体にかかる契約であり、業務量も多いことから、本契約の落札者が他業務の入札に参加する場合には、本契約を実施していることで不当に有利になることがないように、また、本契約と並行して他業務を実施することが可能であるのか注視していただきたい。